



## 学会・シンポジウム情報



1998年3月26日-27日：日本藻類学会第22回大会（下田）（詳しくは本号の案内をご覧ください）

1998年4月12日-17日：第16回国際海藻会議 The 16th International Seaweed Symposium, Cebu City, Philippines. Full paper and poster presentations are invited on all aspects of seaweed research and utilization, including, but not limited to: applications, molecular biology, chemical ecology, community ecology, taxonomy, chemistry, physiology, resource management, biogeography, pollution, diseases, microalgae, aquaculture. Those wishing to organize special sessions or topics, please contact immediately the organizers. 連絡先: Dr. Gavino Trono, Jr., Marine Science Institute, University of the Philippines, 1101 Diliman, Q.C., Philippines. Fax. (+63-2) 921-5967; 922-3958 e-mail: trono@msi.upd.edu.ph (詳しくは45(3)号の案内をご覧ください)

1998年4月16日-17日：藻類の凍結保存に関する国際シンポジウム International Symposium on the Cryopreservation of Algae. University of Texas Campus in Austin, Texas. 問い合わせ先: Alexandra Crutchfield: e-mail: almc@mail.utexas.edu  
Department of Botany, University of Texas, Austin, TX 78713 Tel. 512-471-1589, Fax. 512-471-3878

1998年5月29日-31日：第2回マリンバイオテクノロジー学会大会（マリンバイオ広島'98）（詳しくは次頁の案内をご覧ください）

1998年6月2日-7日：第8回クラミドモナス細胞・分子生物学国際会議 The Eighth International Conference on the Cell and Molecular Biology of *Chlamydomonas*. Granlibakken at Lake Tahoe, Tahoe City, CA. 詳しい情報は次のサイトを参照してください。http://www.swmed.edu/home\_pages/chlamy/1998chlamy.html

1998年5月10日-30日：第7回植物プランクトンコース Seventh Advanced Phytoplankton Course, Taxonomy and Systematics.

1998年9月7日-10日：鞭毛生物に関する国際シンポジウム The Flagellates, Birmingham, UK. 連絡先: B.S.C. Leadbeater, School of Biological Sciences, University of

Birmingham, Birmingham B15 2TT, UK, Fax: +44 121 414 5925, e-mail: B.S.C.Leadbeater@bham.ac.uk

1999年6月22日-25日：第2回アジア太平洋藻類フォーラム  
Second Asian Pacific Phycological Forum, The Chinese University of Hong Kong, Shatin, N.T. Hong Kong SAR, China (詳しくは45(3)号の案内をご覧ください)

1999年9月20日-26日：第2回ヨーロッパ藻学会議 The Second European Phycological Congress (EPC 2), Montecatini Terme (Italy). 連絡先: Prof. Francesco Cinelli Dipartimento di Scienze dell'Uomo e dell'Ambiente - Università di Pisa Via A. Volta, 6; I-56126 Pisa, Italy  
Tel: + 39 50 23054; Fax: + 39 50 49694, e-mail: cinelli@discat.unipi.it (The first circular will be mailed in May 1998.)

1999年9月26日-10月1日：第8回国際応用藻学会議 8th International Conference on Applied Algology (8th ICAA), Montecatini Terme (Italy), 連絡先: Prof. Mario Tredici, Dipartimento di Scienze e Tecnologie Alimentari e Microbiologiche - Università di Firenze P.le delle Cascine, 27; I-50144 Firenze, Italy Tel: + 39 55 3288306; Fax: + 39 55 330431; e-mail: tredici@csma.fi.cnr.it

1999年8月1日-7日：第16回国際植物学会議 XVI International Botanical Congress (St. Louis, U.S.A.), 連絡先: Secretary General, XVI IBC, c/o Missouri Botanical Garden, P.O. Box 299, St. Louis, Missouri 63166-0299, USA FAX: (01) 314-577-9589 or e-mail: ibc16@mobot.org. You may also consult the Web site for more detailed information and to register. The address is: http://www.ibc99.org (詳しくは45(3)号の案内をご覧ください)

## 第2回マリンバイオテクノロジー学会大会の開催について (マリンバイオ広島'98)

主催：マリンバイオテクノロジー学会

共催：水圏生態系環境保全学会

日程：平成10年5月29日(金)～5月31日(日)

場所：アステール・プラザ(29日) 広島市中区加古町4-17

広島女子大学(30,31日) 広島市南区宇品東1-1-17

(大会会長：通産省工業技術院中国工業技術研究所・山岡到保)

日程及び概要：

5月29日シンポジウム「せとうちルネッサンス」【一般公開・無料】

1. 瀬戸内海は今、どんな状態なのか？(水質・底質) 2. 瀬戸内海は今、どんな状態なのか？(赤潮・貝毒) 3. 学者はどうするか？(環境マリンバイオによる対策案)、4. 教育者はどうするか？(環境教育、科学教育) 5. 漁民はどうするか？(森は海の恋人) 6. マリンバイオはどうするか？(研究最前線) 7. 総合討論ーパネル・ディスカッション

5月30・31日研究発表会【会員のみ；要参加費】

1. 国際シンポジウム(水圏生態系環境保全学会との共催、30日のみ) 2. ワークショップ(テーマ別集会) 3. 一般講演 4. ポスター発表(最優秀ポスター賞あり)。

発表申込締切：平成10年3月20日(金) FAXまたは電子メール受付 (Subjectは moshikomi)

発表要旨締切：平成10年4月20日(月) 郵送または電子メール必着 (Subjectは moshikomi)

発表形式：一般講演口頭発表(質疑含み15分、OHP使用)

発表・参加申込方法：住所、氏名、所属、電話番号、FAX番号を明記のうえ、下記連絡先までお申し込み下さい。申し込み用紙をお送りします。なお、電子メールでお申し込みの場合は、電子メールによる返事で申し込み要領をお知らせします。

参加登録料：(3月20日まで) 会員：一般5,000円、学生3,000円

非会員：一般9,000円、学生4,000円

(3月21日以降) 会員：一般7,000円、学生4,000円

非会員：一般10,000円、学生5,000円

発表要旨集代を含みます。

ワークショップ下記のほか数件を企画しております。(カッコ内はオーガナイザー)

・遺伝子工学生物のインパクト(石田祐三郎・福山大学、長沼毅・広島大学)

・環境問題へのマリンバイオのアプローチ(東原孝規・生命工学工業技術研究所)

懇親会5月30日(土) 会費：一般5,000円、学生3,000円

連絡先〒739-0046 東広島市鏡山1-4-4 広島大学生物生産学部

第2回マリンバイオテクノロジー学会大会

実行委員長 長沼毅

TEL(0824)24-7986 FAX(0824)22-7059

E-mail takn@ipc.hiroshima-u.ac.jp

大会ホームページ <http://www.ipc.hiroshima-u.ac.jp/hubo1/mbio.html>

## 国立科学博物館創立120周年記念特別企画展



### 「地球のなかまたち」

第1部 海に生きる ーくうか・くわれるかー  
 第2部 野生の躍動 ーヨシモトコレクションー

期間：1998年3月7日～5月10日

場所：国立科学博物館（東京・上野公園）

開館時間：9:00～16:30（入館は16:00まで）

料金：一般・大学生 830円（個人）／560円（団体），  
 小・中・高生 250円（個人）／130円（団体）。団体は20人以上。

問い合わせ：NTT ハローダイヤル 03-3272-8600，

かはくホームページ：<http://www.kahaku.go.jp/>



この春、国立科学博物館は、創立120周年を記念して、特別企画展「地球のなかまたち」を開催します。第1部「海に生きる-くうか・くわれるか-」は国際海洋年\*協賛行事として企画され、生物間のエネルギーの流れとしての食物連鎖をメインテーマに多様な海洋生物を紹介しますが、その出発点である植物プランクトンや海藻類についても展示を行います。第1部には日本藻類学会をはじめとして海洋生物に関わる12の学会が協力団体となっております。また、南雲保（日本歯科大）・田中次郎（東水大）の両氏には外部委員となつていただき、有賀祐勝（東水大）・吉崎誠（東邦大）の両氏からは巨大な標本（見てのお楽しみ）をお借りしました。ご来場をお待ちしています。

\*国際連合は第49回総会（1994年12月）で「持続可能な開発のための資源としての海洋及び海洋資源の重要性を一般の人々に周知する」ことを目的に、1998年を「国際海洋年」とすることを承認しました。国立科学博物館はその趣旨に賛同し、協賛事業として本展示を主催します。

### 学会への寄付金について

日本藻類学会は、本年4月以降、下記の寄付金を受領しました（敬称略）。学会運営上、貴重な資金援助を賜りご厚意に感謝いたします。

100,000円	藻類絵はがきの会	絵はがき頒布売上金
50,000円	藻類学会企画委員会	藻類スライド頒布売上金
50,000円	(株)ナボカル	コスメティックス
30,000円	石川 香村	印刷物へのスライド使用謝金
10,000円	横浜 野田	標本作成謝金の一部

なお、藻類学会は、英文誌和文誌の維持と充実のために資金を必要としております。会員の皆様の積極的なご協力を期待しております。

寄付金の送付先：

第一勧業銀行 京都支店 普通 1333179 日本藻類学会  
 郵便振替口座 00130-6-360456 日本藻類学会事務局



日本藻類学会